


関連イベント

**飯沢耕太郎氏と「0と1の境界領域」のアーティストが語る**

飯沢耕太郎氏をお迎えて、参加アーティストと「0と1の境界領域」について語り合う。企画展の趣旨をより深く理解して鑑賞者とともに語り合うトークショー。


日時: 2026年6月14日[日] 14:00-16:00  
会場: 東京都美術館 ギャラリーA  
定員: なし / 参加費: 無料 / 事前申込制  
右記二次元コードよりお申込みください。



**深川雅文氏と「0と1の境界領域」のアーティストが語る**

深川雅文氏をお迎えて、参加アーティストと「0と1の境界領域」について語り合う。企画展の趣旨をより深く理解して鑑賞者とともに語り合うトークショー。


日時: 2026年6月21日[日] 14:00-16:00  
会場: 東京都美術館 ギャラリーA  
定員: なし / 参加費: 無料 / 事前申込制  
右記二次元コードよりお申込みください。



**Gil Kuno スペシャルライブ**

Gil Kunoの作品は、時としてアート作品、また時として楽器となり鑑賞者の眼前に出現する。今回は、東京都美術館開館100周年を記念してスペシャルゲストをお迎えし魅惑のサイトスペシフィック・ライブを敢行する。

日時: 2026年6月26日[金] 18:00-20:00  
会場: 東京都美術館 ギャラリーA  
定員: なし / 参加費: 無料 / 事前申込制  
右記二次元コードよりお申込みください。



**Artist-Talk (1) 《生きて動く身体》の可能性**

それぞれの作品の前で参加アーティストによるトークを実施します。

日時: 2026年6月13日[土] 15:00~  
会場: 東京都美術館 ギャラリーB  
定員: 30名 / 参加費: 無料 / 事前申込制  
右記二次元コードよりお申込みください。



**Artist-Talk (2) 《今日の身体性》BBBdabada × 安河内宏法**

BBBdabadaの前身である「Body Buddy Baby」展を京都芸術センターCo-Program2025で担当した安河内宏法氏(現: 川口市立美術館学芸課長)を迎え、参加アーティストとともにトークを実施します。

日時: 2026年6月20日[土] 15:00~  
会場: 東京都美術館 ギャラリーB  
定員: 30名 / 参加費: 無料 / 事前申込制  
右記二次元コードよりお申込みください。




**ワークショップ「うまく話せないと思いながら話してみる」**

展示を見て思ったことを、参加者同士、時間をかけて聞き合って話すワークショップを行います。

\*ワークショップのはじめに観賞する時間を30分程度設ける予定です。

日時: 2026年6月14日[日] 13:00-16:00  
会場: 東京都美術館 スタジオ  
定員: 15名 / 参加費: 500円 / 事前申込制  
司会進行の使用言語: 日本語(音声)  
\*英語やUDトークの使用は対応が可能です。  
そのほかご参加にあたり必要なサポートがある場合はご相談ください。  
右記二次元コードよりお申込みください。



**「土にかへれ」展示作家による過去作上映会**

展示作家3名による映像作品の上映会を行います。

日時: 2026年6月21日[日]  
①開場 10:45 上映 11:00~  
②開場 13:45 上映 14:00~ トーク 16:00-16:30  
会場: 東京都美術館 講堂  
定員: なし / 参加費: 無料 / 事前申込不要

## 東京都美術館開館100周年記念 都美セレクション グループ展 2026

100th Anniversary of the Tokyo Metropolitan Art Museum  
Group Show of Contemporary Artists 2026

「都美セレクション グループ展」は、新しい発想によるアートの作り手の支援を目的として、当館の展示空間だからこそ可能となる表現に挑むグループを毎年募り、その企画を実施するものです。

東京都美術館開館100周年の節目の開催となる「都美セレクション グループ展 2026」では、応募の中から厳正な審査を経て選ばれた3グループが展覧会を実施し、絵画、彫刻、写真、映像、インスタレーション等によるさまざまな作品を展示します。

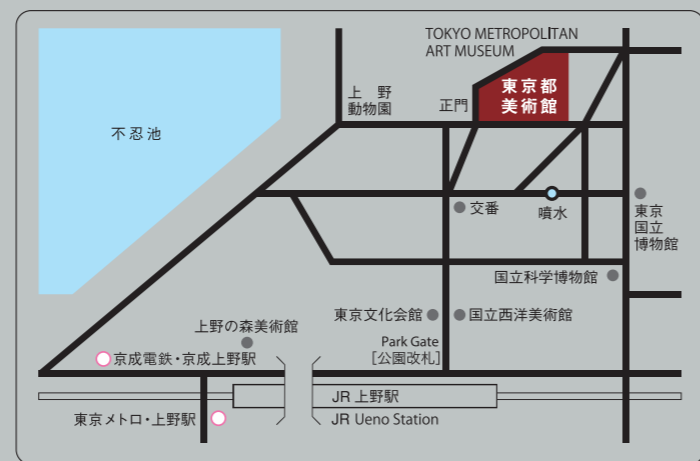
会 期: 2026年6月10日[水]-7月1日[水]  
会 場: 東京都美術館 ギャラリーA、B、C  
開室時間: 9:30-17:30(入室は開室の30分前まで)  
夜間開室: 6月12日[金]、19日[金]、26日[金]は、9:30-20:00  
(入室は開室の30分前まで)  
休 室 日: 6月15日[月]  
観 覧 料: 無料  
主 催: 東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
各展覧会の実施グループ

●開催内容は都合により変更する場合がございます。最新情報は当館ウェブサイトをご確認ください。



〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36  
TEL 03-3823-6921  
https://www.tobikan.jp

- 【交通のご案内】
- JR上野駅「公園改札」より徒歩7分
  - 東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分
  - 京成電鉄京成上野駅より徒歩10分
- \*駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください



# 都美 0と1の境界領域展

Gallery A  
Interdisciplinary region between 0 and 1

東京都美術館開館  
100周年記念  
都美セレクション  
グループ展 2026



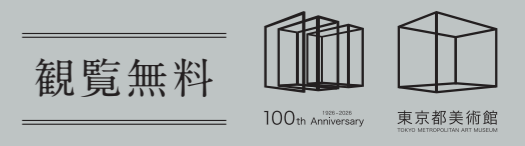
大野公士(Identification algorithm -cross-) 2024



山本信幸(Untitled) 2024

Gallery B  
BBBdabada  
BBBdabada [水-水-水]

2026年  
6月10日 水  
7月1日 水



# グループ展

100th Anniversary of the  
Tokyo Metropolitan  
Art Museum

日原聖子(Circle in red(傳承風刺)) 2021 撮影: 森政俊

Group Show of  
Contemporary Artists  
2026

# 2026

Gallery C  
土にかへれ  
TUTU NI KAERE



Gallery A  
0と1の境界領域展  
問合せ先: info@connections-project.net

Gallery B  
BBBdabada  
問合せ先: mail.dabada@gmail.com

Gallery C  
土にかへれ  
問合せ先: tutunikaere@proton.me

# 0と1の境界領域展

Interdisciplinary region between 0 and 1

Gallery

5名のアーティストは一見すると違うジャンルの表現のように見えるが、皆それぞれが共通のコンセプトを通底している。それは「無」や「空」である「0」と、「実存」である「1」の狭間にあるイメージを果敢に作品として可視化する表現行為である。

「0」が「1」に至る過程の狭間で生み出される作品を100年の歴史の中で受け継がれてきた東京都美術館の空間に構成展示することで「0」と「1」の境界領域を出現させる。

メンバー  
大塚勉  
大野公士  
Gil Kuno  
Hogalee  
松本涼

助成  
公益財団法人朝日新聞文化財団

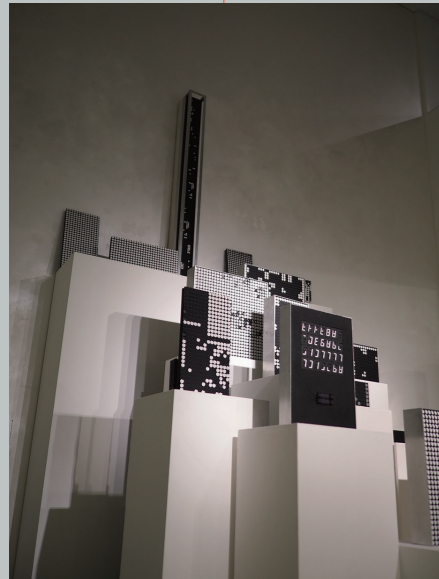
協賛  
カモ井加工紙株式会社

## 0と1の境界領域展企画室

アーティスト兼企画立案者である大野公士が、2020年に長期滞在していたオランダから日本へ本帰国した際、長く知己にあった大塚勉と松本涼の両氏とのコラボレーション企画展を構成すべく各々と会合をもった。

その中で、大野が「0」と「1」の境界領域をコンセプトとしたグループを結成して新たに2名追加して企画展を構成することを提案し、アーティストのHogaleeとGil Kunoを招聘し2024年に5名のユニットを結成した。

<https://info7918821.wixsite.com/0-1artproject>



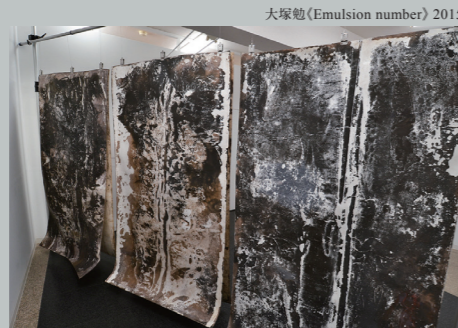
Gil Kuno(Noisemakers) 2026



Hogalee(Honored one - Wall) 2022



松本涼(虚実皮膚 神蹟 枯葡萄-黄昏) 2023



大塚勉(Emulsion number) 2015

# BBBdabada

BBBdabada [ビービーダバダ]

Gallery

本企画は、乳幼児が身体との一体感を通して自他や世界を認識していく過程を手がかりに、「ここにある身体」を規定や制度、尺度として作用するプリミティブな制約として捉え直す展覧会である。労働過程において動作の効率化を目指す概念「動作経済」に着目し、そこから取り出された動作を起点とする作品群を通して、身体と世界の関係、そして現代における(生きて動く身体)の在り方を問い直す。

メンバー  
川松康徳  
山本信幸  
内田望美  
岩崎宏俊(ゲストアーティスト)  
高橋順平(ゲストアーティスト)

助成  
公益財団法人朝日新聞文化財団

## dabada

dabadaは、川松康徳と山本信幸によるプロジェクトとして、2010年に友人宅での展覧会から始まり、国内外で18回の展覧会を開催。2024年にプロジェクトごとにメンバーを編成する共創チームとして再始動。以後、「Body Buddy Baby」関連プログラム監修、AiF2025、YAU Center ぜにがめ“Y-base”、ギャラリー無量など、複数の企画採択を受け活動を展開している。

<https://dabada.kawamatsuyasunori.com/activity/bbbdabada.php>

Instagram@\_\_\_\_\_dabada



川松康徳(NARRATIVISUAL:N 'Jilguero') 2018



高橋順平(GREAT WORKER) 2024



内田望美(呼吸をあわせる。) 2024



岩崎宏俊(8つのムーブメントとクロード・ガラス) 2026

# 土にかへれ

TUTINIKAERE

Gallery

自身の故郷や他者にとっての故郷、それらは分けて考えられないものである。そして、「土」はそれらを地続きにする。賀来庭辰、井上瑞貴の絵画、井上の絵画、日原の布や刺繍を介した作品と、それぞれの映像作品を交差させながら、「土」を巡る交感によって土地に対する各々の態度や思考の差異から生まれる気づき、土地への結び目を改めて見出そうとする。

メンバー  
賀来庭辰  
井上瑞貴  
日原聖子  
見目はる香(マネジмент)  
遠藤純一郎(ワークショップ協力)

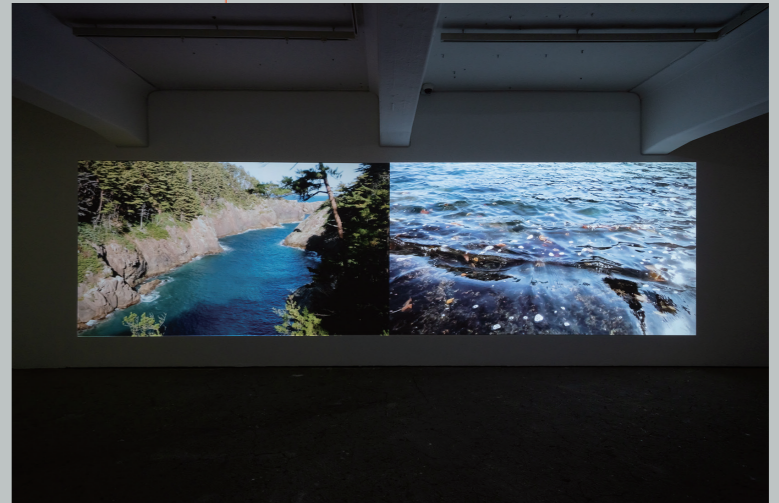
助成  
公益財団法人朝日新聞文化財団

協力  
キャンノン株式会社

## 「土にかへれ」実行委員会

賀来庭辰・井上瑞貴・日原聖子は、各々の出自の先にあるものや、社会の複合性を見つめることから生じる問いのそばで、それぞれの関連する地域へ赴きながら、その地をめぐるリサーチ及び制作を行ってきた。故郷を離れることに比重を置きながら、その過程は土地や人との距離、関わり方について思考すること、他者(そして自己)を理解しようとするこへとしばしば接続されている。

<https://oarpress.com/tutinikaere/>



井上瑞貴(Find a point of view / gaze)「TOKAS-Emerging 2023『あなの中のいいじゆう』」(トーキョーアーツアンドスペース本郷、2023)  
撮影:加藤健 画像提供:Tokyo Arts and Space



賀来庭辰(ツングルーエ) 2026